

番外編庭木の種類

事務所近く喫茶店の生垣が変わった種類なので、これは何ですかと聞いたらオーナーが「糸魚川付近でとれるイトイガワシンパクですよ。いいものでしょう」と言っていました。最初、シンパクの意味がわからず、あとで図鑑を調べたらビャクシン類の仲間と判明。ビャクシン類は赤星病との関連が深く地域によっては植栽を制限していることもあるので、別名も知っておいた方が樹木を知るうえで助かります。特に最近流行のコニファーはビャクシン類(スエシカ、マザーローデ、セイブロックゴールド、ブルーエンジェル、ブルーヘブン、ムーングロー、ブルーカーペット、ブルースター)に属しているものが多いので自分の家だけでなく周りにも気をつけなければなりません。

今回、番外編として私の気に入っている樹木やちょっと変わったのを並べてみました。

樹種名	特性及び由来
モモ	「古事記」にモモの実をぶつけて邪鬼を追い払うという記載あり。「桃の節句」の由来。写真は愛知県リトルワールドで写したハナモモ、ほんとうにきれい。
オリーブ	風に弱い乾燥に強い。大都会や屋上緑化で増えている。ただ、値段の高いのが難点。何か洋風の庭に合いそう。長野では売っているのをあまりみかけません、寒いからでしょうか？
ナンジャモンジャ	変わった名前の木、見たことがない珍木のためこう呼ばれているそうです。上田市天然記念物「上塩尻のナンジャモンジャ」は虚空蔵山の山頂にあるとか。別名：ヒトツバタゴ。
マテバシイ	煙害や排気ガスに強い工場付近、高速道路沿いなど空気の汚れている場所が適地。マサキといい勝負？
エニシダ	昔、枝ほうきとして使用された。魔女の乗るほうきはエニシダで作ったという伝説あり。城の石垣に垂れるエニシダは見事。病害虫に強い。
ヒイラギ	生垣に多い。葉にはトゲあり。古来より邪鬼の侵入を防ぐ言い伝えがあり、縁起のいい木として使われる。写真は小布施町天然記念物で樹齢700年以上のヒイラギ(幹の高さ約10m)、葉の特徴であるトゲがなくなり丸くなっています。
スカイロケット	ビャクシン類のコニファー。 空に向かって一直線、これが気に入って買ってしまいました。 日陰にやや弱いようです。

参考文献

濱野周泰監修「大人の園芸 庭木 花木 果樹」株式会社小学館

濱野周泰監修「葉っぱでおぼえる樹木」柏書房

「なるほど上田小県百科」株式会社郷土出版社



モモ (ハナモモ)



オリーブ



ナンジャモンジャ



マテバシイ



エニシダ



ヒイラギ